

くださる方々もいらっしやり、HANDSの活動や、外国にルーツのあることもたちが直面する問題についても知っていただく良い機会となりました。

はじめての大学祭参加ということで、反省はありますが、招待させていただいた AMAUTA

の子どもたちと一緒に安全に楽しく過ごせて、より仲が深まりました。そして、出店を通して HANDSを知ってもらえる第一歩となった大学祭でした。この一歩が二歩、三歩と続いていけるよう、ぜひ来年以降も参加したいと思います。

## 真岡市国際交流協会主催「イヤーエンドパーティー」に参加して

宇都宮大学国際学部1年

佐藤春菜



12月13日(土)、私は真岡市二宮コミュニティセンターで開催されたイヤーエンドパーティー2014に参加しました。これは、真岡市国際交流協会が市内在住の外国人と市民の触れ合いを目的として数年前から開催している催しですが、今回宇都宮大学からは学生10名、留学生4名、教授1名が参加しました。

このイヤーエンドパーティーでは参加者によって各国の手料理や、茶菓子が振る舞われました。ブラジルのお菓子であるブリガデイロやベイジーニョというお菓子は独特の甘さがあり、やみつきになる味でした。また、参加者による日本の伝統舞踊や歌に加え、ペリーの民族舞踊であるマリネラ、ブラジルの民族舞踊であるサンバなどが披露され、私たちは普段の生活では

あまり触れることのない異文化を身近に感じることができました。外国にルーツを持つ子どもたちによる踊りでは、情熱的な音楽に乗せた子どもたちの可愛らしい踊りを見ることができ、見ている私たちまで楽しい気持ちになることができました。また、音楽を聴いた参加者が自由にリズムに合わせて体を動かす様子も見られ、出演者と参加者が一体となって盛り上がることができました。

私は今回このパーティーに参加し、異国の雰囲気を感じると同時に、日本の文化についても考え直すことができました。近年衰退しつつあるとされている日本文化ですが、改めて伝統的な踊りと歌を間近で見ることによって、長い間人々が受け継いできた日本文化の独自性を味わう良いきっかけとなりました。私は国際色豊かなこのパーティーを通して、異文化に対して理解を深め敬意を払うと同時に、自国文化に対して誇りを持つことの重要性を感じました。このパーティーで過ごした時間は、私、そして全ての参加者にとって有意義な時間になったであろうということは言うまでもありません。またこのような機会があれば、ぜひ参加したいと思います。